

宗祇法師旧庵そうぎはふしのきうあん〔法輪寺の南三町許はかりにあり、此地西行法師の古跡なるべし、今西行桜といふあり〕

磧礫集 宗祇法師法輪寺のかたはらに菴をむすびて一とせあまり住けるに、ある時野州常縁とふらひける、帰ける

折ふし、五月雨の空さへいと曇て雲むらく立わたれる気色を見侍て、帰て宗祇の許へつかはしける。

よそに見てすまれん物か山里の雲さへかへる夕霧の雲

常

縁